

特殊詐欺対策通信

特殊詐欺発生状況

令和6年1月の状況

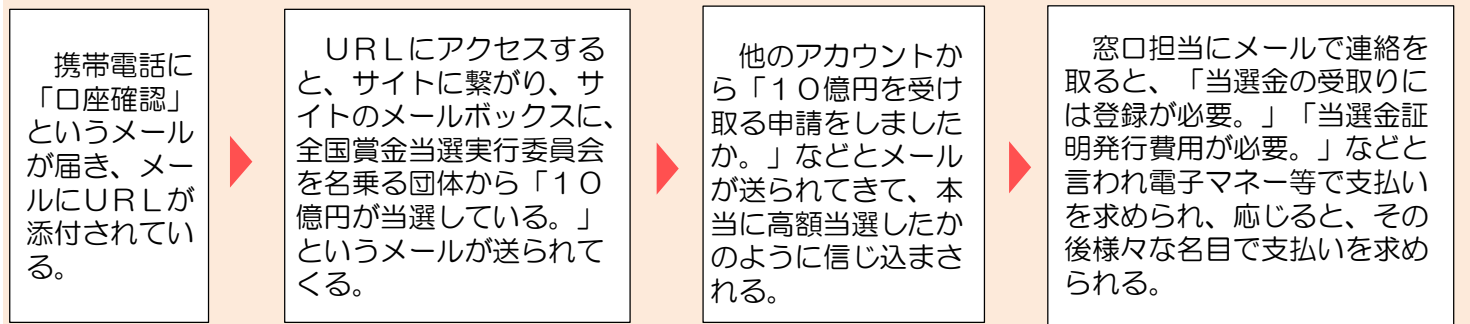
1月中	件数	金額	R6年1月末 手口別件数	件数	金額
R6年	8	約7,390万円	架空料金請求詐欺	4	約800万円
R5年	13	約6,060万円	金融商品詐欺	4	約6,590万円
増減	-5	約+1,330万円			

1月中の主な手口

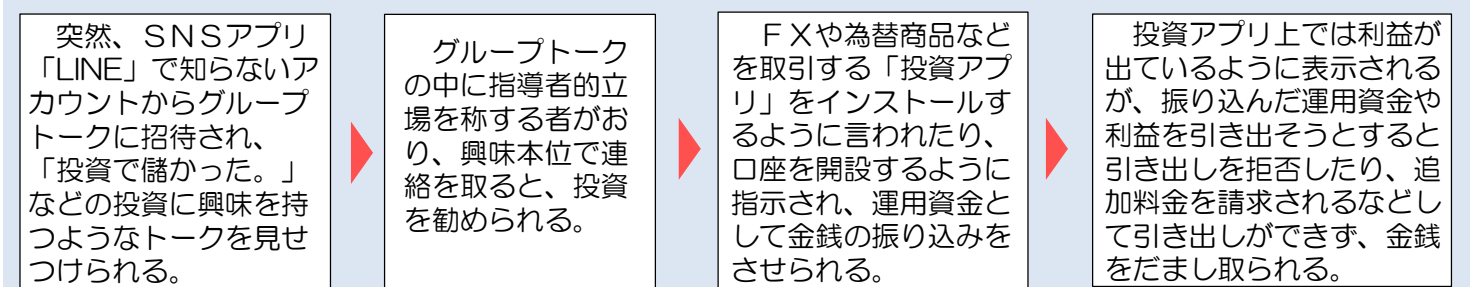
架空料金請求詐欺、金融商品詐欺を認知!

- 高額金の当選名目で受取登録料等を搾取する**架空料金請求詐欺**を認知しています。
- SNSアプリ「LINE」の**グループトーク**に招待されるところから始まる**投資名目の金融商品詐欺**を認知しています。(被害が高額化しています!)

架空料金請求詐欺の手口一例



金融商品詐欺の手口一例



トピックス

特殊詐欺被害の未然防止

1月中、新見郵便局では、「年金の払い戻しがある。」などの電話を受けた来店客が携帯電話で通話しながらATMを操作していたことから、局員が電話を代わるなどして還付金詐欺を未然に防止しました。菅生郵便局では、現金を引き出そうとする来店客に事情を聞いたところ、「警察のおとり捜査で必要なので出金している。」などと話したことから、詐欺と見破り、オレオレ詐欺被害を未然に防止しました。

また、ファミリーマート児島下の町店、セブンイレブン矢掛江良店、ローソン岡山高島新屋敷店では、電子マネーカードを購入しようとした来店客に店員が購入理由を聞いて詐欺と見抜き、警察に通報するなどして架空料金請求詐欺被害を未然に防止しました。

このほかにも、金融機関やコンビニエンスストアなどで合計21件の特殊詐欺被害を未然に防止することができました。

ココに「技あり」!

新見郵便局では局員が「ATM+携帯電話=詐欺」を知っていたからこそ詐欺と気が付けたもので、菅生郵便局や各コンビニエンスストアでは日頃から特殊詐欺被害防止に目を向けていることから来店客に声を掛けていただき内容を聞いて詐欺と見破ったもので、いずれも好事例です。